

3月議会報告 その5

平成18年度大垣市予算 私達の願いはどれだけ前進したか・・・

私、笹田トヨ子を議会に送っていただいて3回目の予算編成を迎えました。私の公約、そして皆さんの願いが、平成18年度予算でどれだけ実現したのか、「子育て」「教育」「治水」「地震対策」などの分野を見ました。

市会議員 笹田トヨ子

子育て・教育

乳幼児医療費の無料化、保育料の軽減、 35人学級で前進

- ①乳幼児医療費無料化：県制度が就学前まで無料化となり県負担が4億4660万円で、大垣市は小学校1・2年生の外来・入院の医療費の助成で9860万円を予算計上。
- ②出産祝金支給事業：第3子以降の出産に対し、祝い金10万円を支給。
- ③保育料の軽減：12.5%の軽減率を18年度は16.3%に。（平成22年度までに25%の軽減率にして段階的に保育料値下げを行う予定）
- ④民間の学童保育「どろんこ子どもクラブ」が大垣市の留守家庭児童教室に位置づけられ、国庫補助事業の対象になりました。
- ⑤35人学級：県事業では小学校2年生まで拡充、単学年1学級で36人以上のクラスには非常勤講師を配置することになりました。大垣市の「水都っ子プラン」では小中学校1年生の各学級において、30人以上の学級となる学校に対して非常勤講師を配置。

治水・地震対策

床上・床下浸水被害の撲滅、木造住宅 の耐震診断、学校の耐震化工事

- ①排水基本計画に基づき、23号台風で床上・床下浸水被害が起きた地域を重点に、10年間かけて排水対策を行うというもの。平成18年度予算では本幹線ほか水路改良事業、世安・寺内地区に調整池や排水機場の設計委託、水門川上流地区の浸水対策調査委託など。
- ②木造住宅等耐震対策支援事業：「木造住宅耐震診断費補助金」はすべての在来工法木造住宅に対して補助（補助率2/3）、「木造住宅耐震補強工事費補助金」は「全壊の恐れがある」と診断された木造住宅の工事費の一部を補助。
- ③耐震補強工事：宇留生・荒崎幼稚園、宇留生・荒崎小学校
- ④耐震補強計画調査・実施設計：西・安井・静里小学校、北中学校
- ⑤民間保育所耐震補強事業補助金：きど保育園
- ⑥浄化センターなど耐震診断、西崎水源地耐震補強

高齢者福祉・介護

制度改悪で負担増ぶっしりと 減免制度を求めて引き続き奮闘

- ①老人医療費支給事業（垣老）：県の69歳医療費支給が廃止され大垣市の負担が増えました。
- ②介護保険料は当初の予想より低く抑えられましたが、それでも870円の値上げで基準額4190円になりました。その上、税制改悪でその負担は重くのしかかっています。（利用料や保険料の市独自の減免制度はありませんが、どうしてもやっていけなくなったらどんどん相談しましょう）

第5次総合計画に

皆さんの意見反映を!

平成17年度は老人保健福祉計画（第3次介護保険事業計画）、排水基本計画、大垣市一般廃棄物処理基本計画、生活排水処理基本計画（案）、大垣城郭整備ドリーム構想（案）などが出されました。

そして平成18年度は「障害者計画・障害福祉計画」が策定され、また平成18年度から19年度にかけて「第5次総合計画」の策定が予定されています。小川市長は「開かれた行政」の推進と謳っています。総合計画や基本計画はその後の市政を規定するものです。是非市民の皆さんの意見反映を。